

その他に、物流業界が抱えている問題としては…

・人手不足の問題

多くの関連業界では人手不足を感じているというデータもあります。オンラインショッピングの普及などで、労働時間や業務負担の増加、給与などが原因と言われています。

・環境問題

トラックなどの自動車配送はCO2の排出量が多いため環境配慮への取り組みが求められています。

・生産性の向上

特に運送業界でいうと、1時間に配達できる荷物の個数を上げていくことが生産性の向上となります。ドライバー個人の能力向上はもちろんですが、ITの活用など各社で様々な対策を行っています。

物流業界にはチャンスがある!!

ここまで業界の問題を中心に話してきましたが、少し暗いイメージを持たれたかもしれませんね。ここからは、業界全体として良くなっていくための取り組みをお話します。

周りからよく聞かれるのは、「物流業界ってやっぱり大変なのでは？」ということです。

「大変」の指標は色々あると思いますが、働きやすい環境づくりに各社が工夫を凝らして取り組んでいるという点をお伝えしたいです。一例として、弊社の働き方や給与改善の取り組みをお話します。仕事への満足度が昇給だけではないように感じ、社員ドライバーにアンケート調査をしたところ、時間制限いっぱい働いて稼ぎたい社員と、プライベートの時間を充分確保したい社員が約半々という結果でした。そのため、これまでの一律の労働時間管理を見直し、両方のニーズに応えられるようにしています。他の会社さんでもワークライフバランスを満たせるよう、また収入もどんどん上がっていくような取り組みを始めているところです。

次に物流業界の職種についてお話します。

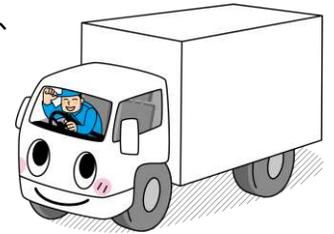
■ドライバー

配送会社でも多くの割合を占めるのがドライバー職です。

物流業界ではトラック配送を中心に多くの求人が出ていますし、個人事業主としてスタートするケースも増えてきています。

配送においては、スマートフォンのような端末で荷物の情報を読み取ると、配送ルートが示されるため、道が得意でない人も位置情報をみながら配達先を確認して配送することが一般的になってきています。

また、ドライバー職以外にも、たくさんの職種が存在します。弊社を例に挙げますが、多くの物流会社で似たような職種があります。



■ロジスティクス

ロジスティクスという分野のお仕事では、県内外各社の荷物（商品や使用する備品など）を沖縄県内の倉庫で預かります。特に県外からの輸送では一度に多く荷物を運ぶことでコスト削減が可能です。その荷物を県内物流会社の倉庫で在庫として管理し県内の必要な事業所へその都度配送することで、効率的な在庫管理・配送を行う仕組みです。

弊社でも、複数の事業者と契約を結び、商品をお預かりしています。